

答え合わせ・解説

問1	答え 2 油揚げ	「鳶に油揚げをさらわれる」の「油揚げ」の部分が入ります。意味は「油断している隙に、自分のものを横取りされること」です。
問2	答え 2 糠	「糠喜び」の「糠」の部分が入ります。意味は「期待外れに終わるような、一時的な喜び」です。
問3	答え 1 人は付き合い仲間によって、良くも悪くも感化されるものだ	「朱に交われば赤くなる」は「人は付き合い仲間によって、良くも悪くも感化されるものだ」という意味です。
問4	答え 1 一角	「氷山の一角」の「一角」の部分が入ります。意味は「全体のごく一部が表面に現れているにすぎないこと」です。
問5	答え 2 春の夜のひとときは、千金にも値するほど趣深く貴重である	「春宵一刻値千金」は「春の夜のひとときは、千金にも値するほど趣深く貴重である」という意味です。
問6	答え 1 長い年月を待っても実現の見込みがないこと	「百年河清を俟つ」は「長い年月を待っても実現の見込みがないこと」という意味です。
問7	答え 2 鶴	「雀の千声鶴の一声」の「鶴」の部分が入ります。意味は「凡人の多くの言葉よりも、優れた人物の一言の方が価値があるということ」です。
問8	答え 3 悪	「悪因悪果」の「悪」の部分が入ります。意味は「悪い行いをすれば、必ず悪い結果が報いとして返ってくること」です。
問9	答え 1 物事はすべてがうまくいくとは限らない	「百発百中とはいかない」は「物事はすべてがうまくいくとは限らない」という意味です。
問10	答え 4 鈍す	「貧すれば鈍す」の続きは「鈍す」です。意味は「生活が貧しくなると、心まで卑しくなり知恵も働かなくなる」です。
問11	答え 3 目上の人が目下の人を何度も訪ねて敬意を表し、仲間に加わってもらうこと	「三顧の礼」は「目上の人が目下の人を何度も訪ねて敬意を表し、仲間に加わってもらうこと」という意味です。
問12	答え 2 山を見ず	「鹿を追う者は山を見ず」の続きは「山を見ず」です。意味は「目先の利益に心を奪われると、全体が見えなくなること」です。
問13	答え 3 矛	「矛盾」の「矛」の部分が入ります。意味は「前後のつじつまが合わないこと」です。
問14	答え 1 鯛	「腐っても鯛」の「鯛」の部分が入ります。意味は「優れたものは、たとえ落ちぶれてもそれなりの価値や品格を保っていること」です。
問15	答え 4 屁一つ	「百日の説法屁一つ」の続きは「屁一つ」です。意味は「長い間の努力や修行も、ちょっとした失敗で台無しになること」です。
問16	答え 4 奮	「獅子奮迅」の「奮」の部分が入ります。意味は「獅子が暴れるように、猛烈な勢いで物事に対処すること」です。
問17	答え 2 意外なところから意外なものが出ることのたとえ	「瓢箪から駒」は「意外なところから意外なものが出ることのたとえ」という意味です。
問18	答え 3 取り越し苦労、無用な心配	「杞憂」は「取り越し苦労、無用な心配」という意味です。